

令和4年第4回教育委員会議事録

開催日時 令和4年4月14日(木)
午前9時30分～午前11時55分

場 所 やしお生涯学習館多目的ホール

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳
学校教育部長 山 本 誠
教育総務部副部長兼教育総務課長
千 葉 靖 志
教育総務部副部長 井 上 隆 雄
学校教育部副部長 高 橋 大 祐
社会教育課長 小 林 勝 巳
文化財保護課長 高 山 治
学 務 課 長 山 内 修
指導課長兼小中一貫教育推進室長
和 田 進
学校 ICT 推進課長 菅 谷 昌 史

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和4年第3回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 専決処分の報告について [説明者 山内学務課長]

(1) 八潮市学校運営協議会委員の委嘱について

本年4月1日の人事異動に伴い、学校運営協議会委員である校長先生や教頭先生が異動となった学校について、新たな校長先生、教頭先生及び主幹教諭が速やかに学校運営協議会の委員となれるよう、教育長が専決処分したものです。

新たな委員は、校長先生が6人、教頭先生が5人、主幹教諭が1人となっています。

(2) 八潮市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱について

本年4月1日の人事異動において、結核対策委員会の委員である学校長が市外へ異動となったことに伴い、新たに学校長を委員として委嘱することについて、教育長が専決処分したものです。

なお、任期は前任者の残任期間とするものです。

4. 議 題

議案第19号

[説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市入学準備金貸付審査会委員の委嘱について

八潮市入学準備金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市入学準備金貸付条例施行規則（昭和47年教委規則第2号）第12条の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 人事異動及び任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第20号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市教育資金貸付審査会委員の委嘱について

八潮市教育資金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育資金貸付条例施行規則（平成元年教委規則第2号）第12条の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 人事異動及び任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第21号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市立小中学校施設建設委員会委員の委嘱について

八潮市立小中学校施設建設委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市立小中学校施設建設委員会規則（昭和57年教委規則第4号）第3条の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正 人

提 案 理 由 任期満了に伴い新たに委員を委嘱したいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第22号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る意見聴取について

八潮市スポーツ推進審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市スポーツ推進審議会条例（昭和63年条例第2号）第4条の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正 人

提 案 理 由 八潮市スポーツ推進審議会条例第4条の規定により、八潮市長から八潮市スポーツ推進審議会委員の委嘱に対する教育委員会の意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第23号 [説明者 高山文化財保護課長]

八潮市立資料館協議会委員の委嘱について

八潮市立資料館協議会委員に次の者を委嘱したいので、八潮市立資料館協議会規則（平成元年教委規則第6号）第3条の規定により議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上正人

提案理由 前任者の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第24号 [説明者 山内学務課長]

八潮市学校給食審議会委員の委嘱について（専門的な方による第三者委員会委員の委嘱）

八潮市学校給食審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市学校給食審議会規則第4条第1項及び第2項の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上正人

提案理由 前任者の任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○高橋委員

任期がほぼ2年で、委員が前任者からほとんど変わっておらず、審議会の中で活発に意見が交わされるか心配があります。

●山内学務課長

任期につきましては、規則で2年以内と定めています。

また、令和3年度は、コロナ渦で3回の会議を全て書面会議で実施しました。会議の内容が、衛生検査の結果に意見をいただくというものでしたので、書面で対応が可能でしたが、今後はやはり対面での議論が必要となることあると考えられます。まだまだコロナ渦という中で、会議の実施方法については課題がありますが、事務局としては任期をおよそ2年間と設定させていただき、中身の濃い審議会としていくように努めていきたいと考えています。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第25号 [説明者 山内学務課長]

八潮市学校給食事業推進専門員の委嘱について

八潮市学校給食事業推進専門員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育委員会専門員設置要綱第4条の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上正人

提案理由 前任者の辞任に伴い、新たに八潮市学校給食事業推進専門員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

コロナ渦で対面会議が難しい状況ではありますが、書面会議よりもリモート会議などで、なるべく議論を交わして会議を進めていただきたいです。

●山内学務課長

専門員が大変ご多忙ということもあり、会議の場を設けることはせず、電話やメールでやりとりをさせていただく予定です。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第26号 [説明者 和田指導課長兼小中一貫教育推進室長]

八潮市就学支援委員会委員の委嘱について

八潮市就学支援委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市就学支援委員会規則（昭和62年教委規則第7号）第2条の規定により、議決を求める。

令和4年4月14日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正 人

提 案 理 由 前任者の任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

各学校で支援が必要な方に対しての大切な会議であると思いますが、任期が1年というのは会議を進めるに当たって何か意図があるのでしょうか。

●山本学校教育部長

協議の内容が、年度毎に行うものなので、任期は1年となっております。

○木下委員

保育所や幼稚園の時から継続的なケアが大事だと思われませんが、保育所の立場で選出されている方の人数が1人ということについてはどのように考えておられますか。

●山本学校教育部長

昨年度は就学時検診前の相談が50件近くあり、できればこの分野で様々な立場の方を入れることができればよいと考えています。

この委員会とは別に、幼保小連携事業ということで、年に3回、市内の保育所及び幼稚園の代表に集まってもらい、小学校低学年の先生との協議を行っております。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

5. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和4年度当初予算の概要について

はじめに八潮市の会計規模ですが、令和4年度一般会計予算は、377億8,000万円で、対前年度比56億9,000万円、17.7%の増となっています。

次に目的別の歳出の状況ですが、「10 教育費」については、47億5,429万1千円で、対前年度比14億8,274万円、45.3%の増となっています。

続いて令和4年度当初予算における主な事業のうち、小中学校又は児童・生徒に関係する事業について説明します。

「1 教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～」の

「01 新設小学校の整備」では、前年度に引き続き設計業務を行うとともに、新設小学校の用地取得を行います。場所は、潮止中学校の西側で、費用はおよそ13億円です。

「02 小中学校体育館への空調設備の導入」では、令和4年度は潮止小学校、八潮中学校、大原中学校の体育館に空調設備を設置します。

「03 学校施設の改修」では、中川小学校、大原小学校に防犯カメラを設置します。また、八條小学校管理特別教室棟の大規模改修工事を行います。

「05 学校給食ビジョンの策定」では、本市の学校給食の将来構想である学校給食ビジョンの策定を行います。

「06 特別支援教育の充実」では、特別な支援が必要な児童・生徒へのきめ細かい支援や指導を行うため、介助員を1人増員します。

また、遊器具の改修工事については、令和4年度は中川小学校、大瀬小学

校、柳之宮小学校で行います。

中学校関係では、埼玉県が潮止中学校の東側の道路拡幅を行うことに伴い、防球ネットやバックネットの移設等を行います。

学校施設の劣化等の状況を把握するための点検委託については、令和4年度は八條北小学校、大瀬小学校、大原小学校、柳之宮小学校、潮止中学校で行います。

交通安全教室は毎年2校ずつ行っており、令和4年度は八條中学校、八幡中学校で行います。

(2) 令和4年3月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
教育委員会への投書は16件でした。各課からご報告します。

●小林社会教育課長

社会教育課は1件でした。

内容としては、駅前出張所での本の貸出についてで、一度返却した本が、その後予約が入っておらず、しかも同じ本が2冊揃っているにも関わらず、再度借りられないのは納得がいかないというものでした。図書館では、延長貸出を繰り返すことで、1人の利用者が本を独占することを避けることを目的に、延長は1回に制限しております。また、同じ本が2冊揃っているのは、1冊はインターネットからの予約本として、もう1冊は実際に本棚に配置され、手に取って閲覧できる本として、その使い分けを行っているところです。投書者には、その旨を直接お伝えするとともに、今後も読書環境と読書活動支援の充実強化に努めていくことをお伝えし、ご理解をいただいたところです。

●山内学務課長

学務課は2件でした。

1件目は、「学校給食の給食費を負担しているのに、決算報告をしてほしい。」という内容でした。これに対して、給食費の会計報告については、平成31年度と令和2年度の分については、大変遅れてしまいましたが、本年1月下旬にご報

告していることを説明し、今後は、例年どおり翌年度の10月頃に報告したい旨回答しました。

2件目は、「伏字の事業所の昼食を食べたところ美味しくなかった。もっと学生が喜ぶ給食にしてほしい。」という内容でした。

これに対して、本市の学校給食の概要を説明し、現在策定途中にある「学校給食ビジョン」についても触れて回答したところです。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課は13件でした。

1件目は、コロナ渦でも柔道の授業を続けるのかということでした。これについては、学校では国や県の方針に基づいて続けていきます。投書者に対しては、柔道は感染対策を講じても感染リスクが高いため、国や県が発する感染防止に係る通知に沿って対応していることを説明しながら、それがしっかり徹底されていることについて、注視していく旨を回答したところです。

これ以外の案件については、学校運営体制に関わるものや、教職員の対応等でございます。学校に直接関係があるものについては学校と連携・対応しており、全体的なものにつきましては電話等で直接ご本人へ連絡・回答しているところでございます。

●山本学校教育部長

(1) 学校の様子について

新年度の学校の様子について3点報告します。

1点目は、4月8日の入学式についてですが、委員の皆様にご出席いただきまして、大変ありがとうございました。各学校ともコロナ対策で式の時間を短くしました。令和4年度の小学校1年生の入学者数が729名、小学校全体が4,283名、中学校1年生の入学者数が671名、中学校全体が2,095名、小中学校合わせて6,378名となっています。昨年度の小学校1年生が719名でしたので、10名ほど増となっています。また、昨年度の中学校1年生は742

名でしたので、若干の減となっています。

2点目は、4月8日から12日までのコロナ感染者数ですが、教員が2名、小学校14名、中学校5名の合計21名が陽性となっています。なお、本日から1校で1学年が学級閉鎖になりました。また、コロナ不安で登校できていない児童・生徒が3学期から大きく減少し、小学校で4名、中学校で1名でした。ICTの関係が非常に進捗しましたので、これも踏まえて学校と保護者と連携して、指導していきたいと考えています。

3点目は、4月12日から給食が始まりましたが、喫食率が若干伸び、98.27%となっています。また、新中学校1年生で給食を食べない人数が6名となっています。モニタリングも継続して実施してまいります。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

(1) 大瀬小学校の増築について

児童数推計の結果に基づき、計画を変更して進めていきたいと考えています。構造についての変更はございません。変更後の建築面積は約480㎡で当初計画の約1/2の面積に変更していきたいと考えています。変更後の教室の種類及び室数は、普通教室6教室で、工期と供用開始日はそれぞれ1年、先送りしたいと考えています。

次に、基本設計案ですが、資料で大瀬小学校全体の配置図をお示しています。太線で囲まれた部分が当初計画の配置となり、斜線部分に変更した配置となります。かなり縮小され校庭も広く確保できる予定です。

次に、平面図をお示ししています。当初計画では、1階には職員室が1室、普通教室が6室、2階には、音楽室・準備室で2室、普通教室が7室で計画をしていました。変更後は、一階の左側が昇降口となり、位置としては南側になります。1階・2階ともに普通教室が3室で合計6室、トイレと配膳室も1・2階に配置し、エレベーターを設置する予定です。

スケジュールですが、増築規模・スケジュール・基本設計案については今後、

本日の教育委員会以降、庁内調整や施設建設委員会、議会、運営協議会・PTA、校長連協などの説明を経て5月中旬以降には大瀬小学校の全保護者に文書にて通知する予定です。また、基本設計最終案も6月中旬から同様にご説明させていただき、7月下旬には完了させたいと考えています。

(2) 新設小学校の整備について

新設小学校についても児童数推計の結果に基づき、26教室で進めていきたいと考えています。

スケジュールについては、教育委員会、施設建設委員会、庁議、経営戦略会議等で説明させていただき、進めていきたいと考えています。詳細は次回の教育委員会でお示ししたいと考えています。

●小林社会教育課長

(1) やしお市民大学・大学院入学式・始業式について

やしお市民大学第19期生、大学院第15期生の入学式・始業式を5月14日、土曜日、13時30分から、八潮メセナ集会室において挙ります。本年度もコロナ禍を考慮し、簡素な形での式の進行を考えており、やしお市民大学運営委員会の委員である、加藤委員にご出席を賜りたいと存じます。後日改めて正式にご案内しますが、ご予約の方をよろしくお願ひします。なお、途中経過ですが、現在、やしお市民大学では、11名の入学者を迎えるとともに、9名が第2学年へ進級し、やしお市民大学院では、2名の入学者を迎える状況となっています。

(2) 「りらーと八幡」リニューアルオープン後の状況について

市民の皆様からは、「オープンするのを待っていた」「きれいになって良かった」「閲覧席で集中して本を読むことが出来る」など、おおむね高評価をいただいている一方で、過日の市民の声ボックスの投書では、Wi-Fiの設置の要望もいただいているところです。

特に図書館での週末は親子連れが多く、お話しの部屋では、くつろぎながら本を読む姿が終始見られ、子どもたちが、楽しいと声を発し、満面の笑顔で好きな本を選び、読んでいる姿が見られました。児童書コーナーと一般書コーナーの棲み分けも上手く機能し、利便性の向上が図られているものと認識しています。

また、公民館についても、部屋の使い勝手の良さから、文化スポーツセンターを拠点に活動していた団体・サークルが移ってくるなど、来館者の皆様から評価されているところです。現在も、多くの団体・サークルが見学に来館されているところであり、りらーと八幡が、温もりのある施設、憩いを感じつつ、人と人が楽しく集えるような施設として生まれ変わったものと認識しています。

参考として、リニューアルオープン時の1日金曜日の来館者数が405人、2日土曜日が400人、3日日曜日が388人と、概ね2倍程度に来館者数が増えている状況となっています。

●高山文化財保護課長

(1) 体験講座「藍染めエコバック作り（絞り染め）」の開催結果について

今回の講座では、江戸時代後期から本市で盛んとなった染色業をテーマに取り上げました。本市の染色業は浴衣生地生産が中心で、消費地江戸と木綿反物の集積地岩槻の間に位置し、また農閑期の労働力が確保できることなど様々な要因により発展を遂げ、かつては生産量日本一を誇りました。講座では、本市染色業の歴史を学び、その後、参加者自らが無地のエコバックを藍甕に浸して染め上げる体験を行いました。参加者アンケートも好評で、地域理解の浸透につながったものと考えています。

(2) 令和4年度イベントガイドの刊行について

イベントガイドは、資料館の利用促進を目的に発行するもので、今年度開催を予定する展示会や講座の情報、資料館が運営するWEBサイト等を紹介して

います。印刷部数は1,000部で、市内小中学校や公共施設、近隣の関係機関等に配布し、情報発信に努めています。

●山内学務課長

(1) 令和4年度児童・生徒数等について

本年4月1日現在の児童・生徒数については、小学校合計4,283人、学級数は165学級となっています。児童数は、昨年度比19人減、学級数は昨年度比4学級増となっています。また、中学校合計では、2,095人、学級数は71学級となっています。生徒数は、昨年度比38人減、学級数は2学級減となっています。

(2) 令和4年度教職員定数・配当について

資料「令和4年度教職員定数・配当一覧」をご覧ください。令和4年4月1日現在となっております。表の左から、学校名、標準学級数と実学級数、校長、教頭、教員、養護、事務といった県費教職員の定数が記載されています。さらに、その右側には定数外等の配当教員の数が記されており、少人数指導、小学校、低学年対応、初任者研修拠点校、通級指導対応、生徒指導などに対応した教職員の配当一覧となっています。教職員の合計は、小学校では254人、中学校では140人となっています。また、備考の本務者カウント内にある数字は育休や産休などの教職員数となっています。さらに、この表の右側の区分は県費非常勤の人数となっています。

(3) 学校給食について

学校給食について、3点ご報告いたします。

1点目は、令和3年度の学校給食費収納状況についてです。市内小学校の4月から12月までの収納率は「99.73%」 中学校は「99.71%」小中学校の合算収納率は「99.72%」未納額は「778,901円」でございます

ます。各学校におきまして、集金に対してご理解とご協力をいただいております。高い収納率が保たれているところがございます。なお、納付が遅れている方から5月31日までに納付された場合には、令和3年度の収入となりますので、収納率はさらに上がる可能性があります。

次に、「学校給食ビジョンの策定」について、前回の定例会後の進捗状況をご報告します。

まずアンケート調査結果ですが、児童生徒及び教職員を対象とした「学校給食に関するアンケート調査」について、支援業務を委託している事業者が集計作業を進めており、自由記載以外のマークシート部分については集計済みでございます。特徴的な傾向についてご報告いたしますと、「給食が好き」と答えた割合が、小学1年生から3年生では約7割、小学4年生から6年生では約4割、中学1年生から3年生では約2割と、学年が上になると減少していきます。また、「給食が嫌い」の割合も、学年が上になると高くなっております。また、教職員向けのアンケートでは、おかずの温かさに関して「不満」と答えた方が約4割でした。

回答項目は他にも多くあり、それぞれについて考察していきたいと考えています。アンケート調査の結果については、また改めて報告します。

それ以外にも、現地調査や、基準となる食数の検討を行っています。色々な提供方式を考える中でも、将来必要な食数というものがないと、施設の規模などの検討が難しいためです。現地調査については、市内の全小中学校に委託業者が伺い、配膳室周辺の視察や施設的な課題の抽出を行っています。これらの結果をまとめて、学校給食ビジョンに反映していきたいと考えています。

つづいてモニタリングについてですが、4月12日から給食が開始して、初日は給食センターと学校で行いました。給食センターについては、週2回程度、職員が中に入って間近で確認していく予定です。学校についても、職員が交代で確認を行い、特に学期の始めは集中的に見たいと考えています。

また、外部機関による学校給食の衛生検査を行っています。一般社団法人埼玉県食品衛生協会に依頼し、年3回検査します。直近ですと本年1月26日に検

査を行い、結果が出ております。給食センターと配送車の衛生管理は良好と評価をいただいております、学校については、配膳室の空調管理、網戸やシャッターの設置、給食コンテナの扉開放時間をできるだけ短くした方が良いという指摘を受けました。

学校給食審議会については、本年3月に書面会議を開催し、この検査の結果を踏まえて、「給食の安全確保」「衛生検査とモニタリングを継続して実施すること」について、各委員からご意見をいただきました。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和4年度「学校教育エイトプラン」について

昨年度から大きな変更点はありません。今年度も引き続き、2つの重点、8つの柱に基づき、学力向上を第一の目標として、学校教育の一層の充実を図ってまいります。

(2) 令和4年度八潮市立小・中学校「学力向上ガイドライン」について

こちらは、「学校教育エイトプラン」に基づき作成したものです。

今年度は、ICT関係、1人1台のタブレット端末の有効活動を目指した内容を新たに加え、八潮市の誇る「小中一貫教育推進計画」とも連携をしながら、児童生徒の学力向上を目指してまいります。

(3) 令和4年度八潮市小中一貫教育推進計画「はばたきプラン」について

こちらは、今年度の八潮市小中一貫教育の推進計画である「はばたきプラン」です。昨日、市内の代表の校長先生、教頭先生にご参会いただき、プランの確認と、今年度の各部会の取組内容についての検討を行いました。今年度においては、施策1から施策5を柱として、八潮市小中一貫教育の目標である、学力・体力の向上と、豊かな心の育成を図ってまいります。

(4) 令和4年3月・4月 事件・事故報告について

3月から4月における市内の事件事故については、1件の交通事故の報告が入っています。新年度が始まり、現在は学校に登校できているという報告を学校から受けています。

(5) 令和4年度教育委員会学校訪問及び懇談について

昨年度と同様、今年度も「中学校ブロックごと」に、教育委員会学校訪問を実施します。また、新任、転入校長の学校には、個別の学校訪問を実施します。現在、4日間の日程で計画を進めています。詳細につきましては、後ほどご連絡します。

(6) 令和4年度指導課・小中一貫教育推進室所掌事業教育委員参加依頼予定行事一覧について

資料は、教育委員の皆様に参加を依頼させていただきたい諸行事の予定一覧です。現在のところ、色がついている行事について、ぜひ参加をお願いしたいと考えていますが、今年度も新型コロナウイルスの状況から、行事の中止や、参加の人数の制限などの変更があることが予想されます。詳細が決まり次第、その都度ご連絡します。

●菅谷学校 ICT 推進課長

(1) Chromebook の年度更新について

昨年度より運用を行っております Chromebook につきましては、先月末に児童・生徒の学年や教職員の異動等に伴うシステムの更新を行ったところであり、また今月5日には、児童・生徒数の増減等に応じた各校の管理台数についても調整を行い、新学期からの活用に向けた事前の準備に関しましては、滞りなく終了している状況となっています。

今年度は、当初計画しておりましたように、Chromebook の家庭への持ち帰りも本格的に実施となります。

「主体的・対話的で深い学び」の実現、「八潮スタンダードと ICT 機器の活用による情報活用能力の育成」を図るため、児童・生徒の発達段階に応じて、計画

的かつ効果的に、ICT 機器の活用が図られるよう、各学校での取組や要望などの把握に努めながら、関係者の方々との連携を密にし、ICT 環境の整備・推進を行っていきたいと考えています。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○加藤教育長職務代理

令和4年度予算で体育館の空調設備設置とありますが、今後、部品の不足が続
き、工事が完了しない場合は、今年度は未完成ということになるのでしょうか。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

中学校については、八條中学校、八幡中学校、潮止中学校で設置を進めていま
す。潮止中学校では、現在部品が入ってきておらず、部分的に取付けしてありま
すが、使用はできない状況です。部品は6月末に納品予定で、7月に入ったら使
用できるようになる見込みです。八條中学校、八幡中学校については使用できる
状況です。

今年度についてもそういった不具合が発生するかもしれませんが、仕様に部
品の調達についてしっかり対応するように記載していきたいと考えています。

○加藤教育長職務代理

予算資料に SDGs のマークが記載してありますが、マークの意味を記載した
ほうがよいと思います。

●荒浪教育総務部長

資料を作成した財政課に伝えます。

○木下委員

給食のアンケート結果については、厳しい意見を真摯に受け止めて、これから
課題に向かって取り組むに当たって、改めて気を引き締めていきたいと思いま
す。

やはり高学年になるにつれて、子どもにも食の好みが出てきますので、このよ
うな傾向になるのは妥当だと思います。しかし、若者の肥満化がコロナ渦で増加

傾向という中で、学校給食は栄養管理が徹底された体に良い食事であることを、子ども又は保護者に知ってもらうようにする努力も必要だと思います。

また、食中毒が起こってから年月が経っていますので、年度始めには新任の先生方に八潮市の給食に対する取組をしっかりと伝えることを徹底していただき、全ての方が高い意識で取り組んでもらいたいと思います。

○高橋委員

木下委員と同意見です。また、他市から異動されてきた新任の先生方には改めて周知をしてほしいと思います。

また、中学校の入学式に出席した際に、他市から異動されてきた新任の校長先生は、八潮市の学校 ICT の進捗に驚いていました。これからも着実に進めてほしいと思います。

○田口委員

大瀬小学校の増築部分は、空調設備は設置されるのでしょうか。

●荒浪教育総務部長

設置する予定でございます。

○田口委員

給食については、これから暑くなってくるので衛生検査を徹底していただきたいと思います。また、昨年衛生害虫が発生した件で、学校に網戸を設置する話があったと思いますが、その後の成果を教えてください。

●山本学校教育部長

網戸については、該当した学校で本年 1 月に設置し、校長会で要望のあった別の 1 校にも設置をいたしました。

先日学校を巡回したところ、コロナ渦ということもあり、あちらこちらの窓が開いている状況でした。学校によって、「この場所にこのような形の網戸をつけたい」という要望が複数箇所あり、それぞれについて早急に対応できる状況ではありませんが、各学校の校長先生は衛生管理に敏感になってきており、意識は非常に高まっております。

また、本年1月に各学校にチェックリストを配付し、配膳ホールやエレベーターホールの衛生管理について注意を促しました。

5月に入りましたら、栄養士による食育指導の時間を増やし、給食が到着し配膳するところで栄養士が指導をし、片付け、残食の状況などを確認するなど、衛生管理を徹底していきます。

○木下委員

学校の担任の先生に意識していただきたいのは、教室の掃除を徹底することが給食の衛生管理にも繋がるということです。そういった日々できることを積み重ねていただきたいと思います。

●山本学校教育部長

各学校を訪問しながら校長先生に伝えていきます。また、5月10日の校長連絡協議会において衛生管理や食育指導等について改めて周知します。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。